



# 吉美小だより

綾部市立吉美小学校  
令和7年6月20日号

みむらさきちゃん

人を大切にするみんなの学校

<学校教育目標>  
<教育スローガン>

自立と貢献 ～夢をもち 仲間とともに 未来を切り拓く 子どもの育成～  
「笑顔・元気・夢いっぱい そして **チャレンジ**」

## 人権旬間が始まりました



本校では年間3回人権旬間(月間)を設定し、命や人権について考え、大切にする力をはぐくむ取組を行っています。1回目は、6月16日から27日までを人権旬間として、人を大切にするための目標や頑張りたいことを考え実行していきます。各学年に応じた人権学習や全校集まるとのはじまりの会・終わりの会も実施します。

この取組に合わせて、6月の全校朝会では、「言葉の力」についての話をしました。人間が話す言葉は、使い方によって聴く人を幸せな気持ちにしたり、傷付けたりします。感謝の言葉やほめられる言葉をかけられると嬉しい気持ちになるし、悪口を言われると悲しい気持ちになります。そこで、私たちに言葉のもつ力を気付かせてくれる、北原白秋の詩「ひとつのことば」を紹介しました。

この詩にあるように言葉はとても大きな力を持っていると思います。同じ言葉であってもその言葉の使う場面や言い方によって、また、聞き手の受け取り方によって印象が全く異なってしまうことがよくあるものです。子どもたちには**自分の言葉はどんな心を持っているか振り返ってほしい**と思います。

子どもたちは、家庭や地域、そして学校という社会の中で、家族や地域の方々、学校の友達や先生と多くの事を語り合いながら生活しています。

「一つの言葉はそれぞれに 一つの心を持っている きれいな言葉はきれいな心 優しい言葉は優しい心 ひとつの言葉を大切に 一つの言葉を美しく」という言葉を全校児童一人一人が意識して生活できれば、言葉によるトラブルや誤解、けんかやいじめ等はなくなると思います。「**きれいな言葉**」「**優しい言葉**」「**幸せな気持ちにする言葉**」に包まれた学校となるよう努めていきたいと思っています。

校長 伊豆 紀代美

『ひとつのことば』 北原白秋  
ひとつのことばで けんかして  
ひとつのことばで かななり  
ひとつのことばで 頭が下がり  
ひとつのことばで 心が痛む  
ひとつのことばで 楽しく笑い  
ひとつのことばで 泣かされる  
ひとつのことばは それぞれに  
ひとつのころを 持っている  
きれいなことばは きれいな心  
やさしいことばは やさしい心  
ひとつのことばを 大切に  
ひとつのことばを 美しく



## 体験を通して学ぶ 見て・聞いて・触れて そして心で感じて学びます

6月も後半に入り、1学期も残すところひと月となりました。学校では、4月に立てた学習や生活等の目標がしっかりと達成できるよう支援するとともに、学習の定着が図れるよう取り組んでいきたいと思っています。

さて、6年生は、5月22日(木)・23日(金)の2日間、物部小学校・志賀小学校と一緒に奈良・大阪方面への修学旅行に行ってきました。実際に自分の目で見ることによって、**実感を伴った確かな知識**を身に付けることができました。「百聞は一見に如かず」と言いますが、法隆寺の建造物や仏像のすばらしさ、東大寺の大仏の大きさ、大阪・関西万博での各国の展示や最先端技術の体験などに、子どもたちは心を動かされていました。また、寝食を共にした2日間の集団生活を通して、**友達とふれあうことの楽しさやみんなのことを考えて行動することの大切さ**も、学ぶことができました。とても思い出深い、実り多い修学旅行となりました。



他の学年も校区の施設見学や綾部市内のくらしを支える施設などに校外学習に出かけています。いつもワクワクでバスから手を振ってくれる姿や「楽しかった」と笑顔で帰ってくる姿がとても印象的です。

ご家庭でも感想をぜひ聞いてみてください。

4年浄水場にて